

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 7 年 2 月 4 日(2025.2.4)

【公開番号】特開 2023-110962(P2023-110962A)  
【公開日】令和 5 年 8 月 10 日(2023.8.10)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-150  
【出願番号】特願 2022-12520(P2022-12520)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 5/04(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 5/04 6 1 1 Z

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 7 年 1 月 27 日(2025.1.27)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

ROM 領域を有し、  
ROM 領域には、第 1 制御領域と第 2 制御領域とを有し、  
メイン処理を有し、  
タイマ割込み処理を有し、  
第 1 制御領域には、遊技の進行に関するプログラムと、ベクタアドレスと、が記憶されて  
おり、  
第 2 制御領域には、不正対策に関するプログラムが記憶されており、  
メイン処理には、割込み禁止命令から割込み許可命令までの所定の割込み禁止区間（以  
下、割込み禁止命令から割込み許可命令までの所定の割込み禁止区間を、「所定の割込み  
禁止区間」と称す）を有し、  
所定の割込み禁止区間中の或るタイミングであるタイミング t 1 でタイマ割込み処理の  
周期が到来したとき、タイミング t 1 でタイマ割込み処理を実行せず、所定の割込み禁止  
区間が終了した後のタイミングであるタイミング t 2 でタイマ割込み処理が実行可能であ  
り、その後、タイミング t 3 でタイマ割込み処理が実行可能であり、  
タイマ割込み処理の周期を T とし、タイミング t 1 を「 $n \times T$ （「n」は自然数）」と  
し、タイミング t 2 を「 $(n + 1) \times T$ 」よりも前の特定タイミングとしたとき、タイミ  
ング t 3 は「 $(n + 1) \times T$ 」であり、  
タイマ割込み処理の周期を T とし、タイマ割込み処理の設計上の処理時間を t としたと  
き、 $T / 2 > t$ となる

30

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0005  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0005】

ROM 領域を有し、  
ROM 領域には、第 1 制御領域と第 2 制御領域とを有し、

50

メイン処理を有し、

タイマ割込み処理を有し、

第1制御領域には、遊技の進行に関するプログラムと、ベクタアドレスと、が記憶されており、

第2制御領域には、不正対策に関するプログラムが記憶されており、

メイン処理には、割込み禁止命令から割込み許可命令までの所定の割込み禁止区間（以下、割込み禁止命令から割込み許可命令までの所定の割込み禁止区間を、「所定の割込み禁止区間」と称す）を有し、

所定の割込み禁止区間中の或るタイミングであるタイミング  $t_1$  でタイマ割込み処理の周期が到来したとき、タイミング  $t_1$  でタイマ割込み処理を実行せず、所定の割込み禁止区間が終了した後のタイミングであるタイミング  $t_2$  でタイマ割込み処理が実行可能であり、その後、タイミング  $t_3$  でタイマ割込み処理が実行可能であり、

タイマ割込み処理の周期を  $T$  とし、タイミング  $t_1$  を「 $n \times T$ （「 $n$ 」は自然数）」とし、タイミング  $t_2$  を「 $(n+1) \times T$ 」よりも前の特定タイミングとしたとき、タイミング  $t_3$  は「 $(n+1) \times T$ 」であり、

タイマ割込み処理の周期を  $T$  とし、タイマ割込み処理の設計上の処理時間を  $t$  としたとき、 $T/2 > t$  となる

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50